

農園通信

2022年7月・8月

発行・問合せ先：島本町農業振興団体
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

🌱 スイカ、カボチャ、メロンの栽培…似ている？

❖似ているところ

○元肥が多いとツルボケと言って木ばかり成長して実が付きません。

追肥は、実が一定の大きさになってから行います。これもツルボケに注意。

○親ヅルは本葉4, 5枚で摘芯(先を止める)し、子ヅルを伸ばします。

○人の手で受粉した方が良いです。棒を立てて受粉日を書きこみます。

○収穫はタイミングが大切。早いと美味しくありません。収穫の目安は

・小玉スイカ=受粉から30日~35日 大玉スイカ=受粉から40日~45日

・(西洋)カボチャ=受粉から50日 ・メロン=受粉から50日~60日

収穫時期は品種によって違うので必ず事前に調べます。また、天候によって数日調整します。

「実の色や音、形等を見る」方法もありますが、それはサブ的方法で、簡単で確かなのは日数です。

❖違うところ

○スイカ、カボチャの雌花は子ヅルにつきます。メロンの雌花は孫ヅルにつきます。

○スイカ、カボチャは実が多くても野菜自身で調整して余分な実を落としますが、メロンは実が多いと木に負担が掛かり、急に株全部が枯れたりします。余分な実は摘果します。

○スイカ、カボチャも加湿を嫌いますが、特にメロンは加湿に弱く、高畝にして雨に注意します。

○スイカはあまり追熟させません。(2, 3日) カボチャ、メロンは追熟(収穫後日数を置く)させます。



🌱 半農半 X(エックス)という生き方

1994年ごろに塩見直紀氏が提唱したもので、当時はとても斬新な言葉でした。

今は岸田首相も使う日本語になっています。半農の半は50%ではなく、

90%の人もいれば5%の人もいるでしょう。半 X は仕事でも趣味でも何でも良いです。専業農家の人も趣味や社会的活動などで半農半 X、家庭菜園のみなさんも半農半 X。ポイントは「農」です。

ある老農の言葉「ネギの1本でも植えたらよい。(野菜の)世話をするとすることは良いことだ」。

農地に立つと、野菜や草や虫や鳥の命の輝き(かがやき)を目にします。そして私たちに大きなエネルギーを与えてくれます。自然の厳しさにも触れます。「農」というのは不思議なもので、人の生き方なり感じ方に変化をもたらすようです。

半農をベース(時間でなく気持ちの面でベース)に、半 X(得意なこと、

大好きなこと、使命、ライフワークなど)を充実させ、生活を豊かに

しましょう。みなさんの X(エックス)は何ですか。



日本農業新聞

あいち de ニューノーマル 新日常の選択肢

半農半 X な暮らしガイド

— 買うからつくるへ —

愛知県半農半 X

【愛知】業と他の仕事を他の仕事と併せ進め、村への人の目を向けよう

半農 先駆

農園利用希望の方へ……農園の空き情報のお知らせ

<問合せ先> 島本町農業振興団体協議会・町民農園部会

fukudaka@amail.plala.or.jp

(;^ω^>) 失敗は宝

うまく出来たことは意外と忘れるものです。反対に、失敗は悔しさと共に記憶に残るので、失敗からいろいろ学べます。失敗大歓迎！
レベルアップの鍵は失敗にあり

経験談

<ソラマメ>



ジャガイモの実

(Wさん) 今年はソラマメ三昧が出来ると楽しみに待っていたところ、収穫まじかになって一気に葉が黄色くなって実が入りませんでした。ショック！開花時期に水をやらなかった為でしょうか？

(Yさん) あともう少しだあと楽しみにしていたのですが、間引きをしなかったので鞘はたくさん付いて小さくて表面に黒い点々が付いたので開けてみると中は真っ黒で腐ってる感じでした。

それでも、他の鞘が大きくなるのを待っていました。しばらくして畑に行くと、なんと鞘が全部真っ黒！途中まで上手く行ったと思ったけど、結果的には大失敗かなあ。間引きをして上を止めて(摘芯)太い茎を育てないとだめなのですね。来年また挑戦します。

(Hさん) 毎年作っていますが今まで問題になったことはありません。注意しているのは ○連作障害を避けるために3,4年は同じ場所で作らないこと ○脇芽は支柱の外にはみ出す分のみ切り、摘心は目の高さ位 他は基本ほったらかしです。水やりは、3月半ば以降、畑に行ったときに地面が乾いていたら水やりしています。(1回/週位) 1袋の種(12,13粒)から5~6kgの収穫です。

(Fさん) <玉葱>今年はこの畑も玉葱、ジャガイモの生育が良かったようです。我が家の晩生玉葱は巨大化しすぎました。味は？巨大化したものより普通サイズの方が美味しいように思います。特に早生の中玉はやわらかくて甘く最高。 <ジャガイモ>今年は見事にきれいな花を着けました。そして収穫時、よく見ると茎の先に青いミニトマトのような実をたくさんつけていました。もちろん中には種が入っています。キタアカリの1株当たりの収穫量は平均1.5kgほど。元気な花をつけた年の方が出来が良いです。「花は取った方が良いか(収量は多くなるか)?」という疑問がありましたが、今年の様子を見ると、それは些細なことで、株が元気な時は花もイモも良く出来るということだと思います。

(Oさん) 昨年ソラマメとスナックエンドウを植えた場所へ、今年は実エンドウ(グリーンピース)の苗を購入して植えましたところ、生育が非常に悪く殆ど収穫できていません。→エンドウはマメ科野菜の中でも、特に連作障害が出やすいことを知りませんでした。最低5年以上は空ける必要があるようです。桜井台の畑でカラスによるキュウリ被害が多発していましたので、キュウリに網を被せる処置を行いました。

(Fさん) 実エンドウの輪作は私は3年。私の畑では3年で大丈夫です。



(Sさん) 昨年四葉系 F1 キュウリから種取したキュウリ(F2)の発芽は順調、今のところ親の性質を引き継いでいます。実の数はそこそこ、大きさは昨年より短い感じ。購入種でも育てているので較べることにします。ピーマンは昨年立ち枯れが多く発生したので要注意です。

6/6、ラッキョは収穫には未だ少し早い感じ、ソラマメ種取りをしました。ワケギも掘り上げました。

旬の1品 (Yさん) 今年はキュウリの収穫が多くて、頂いたものと合わせて5kgの「キューちゃん」を作りました。1, キュウリ1kgを5mmに切り、塩を振り30分程おいてしっかり絞る。2, 生姜の千切り、醤油2カップ、砂糖250g、みりん50g、酢50gを鍋に入れて煮立てる。3, 火を止めた鍋へキュウリを入れ、蓋をせずにさめるまで放置。4, キュウリをつけ汁から取り出し、再度煮汁を沸騰させる。火を止めてキュウリを投入し、つけ汁が冷めるまで放置。完成！！

(Hさん) 5mm程に切ったキュウリに塩をして水を絞り冷凍。まずまずのシャキシャキ感です。